

いそはま日記 2024(3)

タマキビ

冬本番になり、磯浜の生き物たちの活動はにぶく、目立たなくなります。ところが、巻貝のタマキビは逆に活動的になり、岩上の波打ち際に集まっているのをよく見かけるようになります（写真1）。そんな彼らをよく観察すると、少しずつ動きながら岩の表面にはえた小さな藻を食べていることがあります。写真2がその食事風景です。よく見るとかわいいですね。

タマキビは海の貝ですが、ずっと海水中にすることを嫌い、潮が引くと長時間干上がってしまうような海岸の高い場所でくらしています。また、夏に気温が高くなると、海水にほとんどつからない高い位置にある岩の隙間でじっと動かないで夏眠（かみん）することが知られています。磯浜でも、夏にはタマキビをあまりみかけなくなります。そして冬頃になると、海水につかることが多い海岸の低い位置でよく見かけるようになります。タマキビの産卵は冬～春に水中で行われるとされていますので、繁殖とも関係する行動なのかもしれません。

寒い季節ですが、ちょっと暖かい日にはこのタマキビたちの様子をのぞいてみてはどうでしょう。

さとうみ磯浜

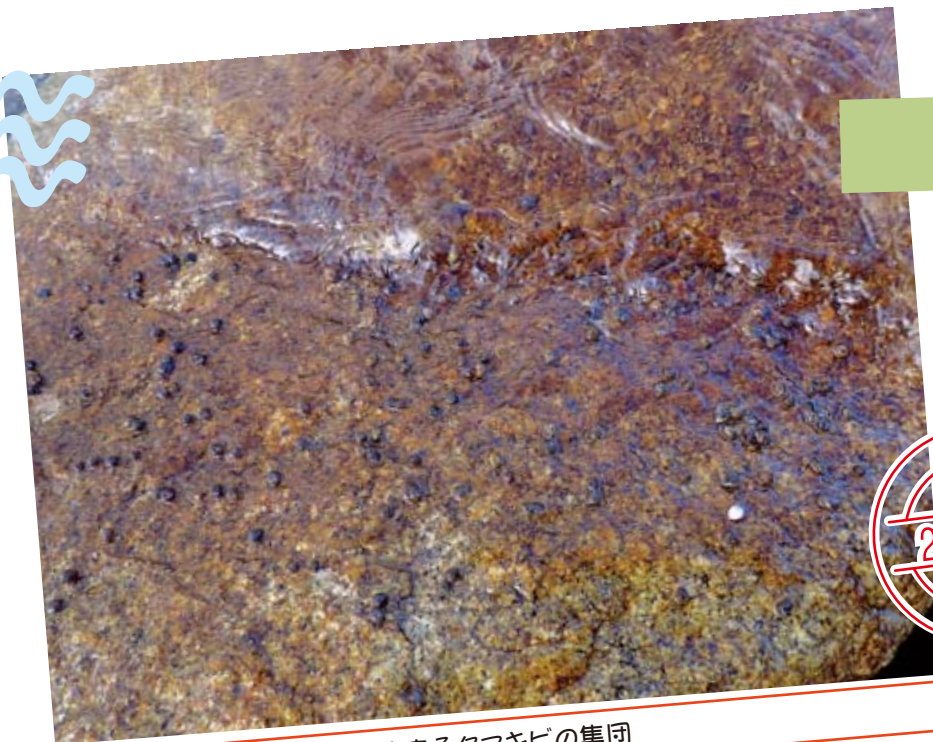


写真1：岩上の波打ち際に集まるタマキビの集団



写真2：岩上の藻（微小藻類）を食べるタマキビ